

Protectosil® WA CIT (NETIS 登録番号: KK-250012-A)

コンクリートや補修用モルタル等の鉄筋腐食抑制材としての水性エマルジョン

概要

Protectosil® WA CIT は、シランをベースとした水性エマルジョンで、コンクリート中の鉄筋を塩化物による腐食から守るよう設計されています。

Protectosil® WA CIT がコンクリート中で均一に分散され、塩化物による腐食から鉄筋を効果的に守ります。

代表的物性値（規格ではありません）

特性	値	単位	試験法
外観	白色液体		-
有効成分	50	%	-
pH (20°C)	9.5-11.5	-	-
密度 (20°C)	Appx. 1	g/cm ³	DIN 51757

特徴

Protectosil® WA CIT は、

- セメントマトリックスと鉄筋表面と化学的に結合します。
- その結果、塩化物由来の鉄筋腐食を効果的に防ぎます。
- コンクリートの乾燥収縮が低減されます。
- 揮発性有機物(VOC)は含有しておりません。

Protectosil® WA CIT は、特に下記用途に最適です。

- EN1504-2 もしくは EN1504-7 規定に準じる 2 成分系コンクリート補修モルタル
- ショットクリート
- コンクリート二次製品
- 海沿いの構造物や凍結防止剤が使用される高速道路、トンネル、パーキング等の、高濃度の塩化物にさらされる環境下の構造物

使用方法

Protectosil® WA CIT はコンクリート中のセメントに対し、2-3%添加して使用してください。

ドライミックスモルタル等の場合は、総重量に対し 0.2-0.5% 添加してください。

Protectosil® WA CIT はコンクリート配合やモルタルプレミックス粉体に直接添加してから水を加え混合してください。Protectosil® WA CIT と水との事前混合は、作業性やセメントの水和反応に悪影響を及ぼす恐れがあります。また、他の添加物との相性は事前に確認してください。

スイス腐食防止学会 (SGK) の研究によると、Protectosil® WA CIT は、コンクリート中の鉄筋の腐食抑制性に優れた効果を発揮しました。

また Protectosil® WA CIT は、コンクリートの乾燥収縮も低減します。Protectosil® WA CIT の使用により、わずかな初期強度発現の低下がみられましたが、この影響は時間とともに回復しました。

安全性および取り扱い

Protectosil® WA CIT は安全性が担保された製品として欧州で CE ラベルを取得しています。



Nr. 0921 – CPR - 2175

EVONIK Resource Efficiency GmbH
 Rodenbacher Chausee 4
 D – 63457 Hanau

18

4153-99086719-0001

EN 934-2:2009+A1:2012

Protectosil® WA CIT

Water resistant admixture for concrete
 EN 934-2:T9

Chloride ion content	max. 0,1 % by mass
Alkali content	max. 0,5 % by mass
Corrosion behaviour	passed
Compressive strength	passed
Capillary absorption	passed
Air content	passed

製品安全データシート (SDS) の安全性および毒性データに加えて、適切な輸送、保存および使用に関する情報を精読してください。

包装および保存

Protectosil® WA CIT は、16kg 一斗缶、25 kg ペール缶、または 200 kg ドラム缶、920kg IBC コンテナで提供しています (通常荷姿は予告なく変更する場合があります)
 4°Cから 40°Cでの保管を推奨します。本製品の保管期間は、納入後未開封で 1 年です。

2025/10/31